

2016年からLEXUSがサポートしている47都道府県の150人の「匠の技」が京都に集結。

京都市とコラボレーションし、小山薫堂氏が総合監修を務め、隈研吾氏が会場と展示空間を演出するクラフトの祭典を初開催。

『TAKUMI CRAFT CONNECTION –KYOTO』

by LEXUS NEW TAKUMI PROJECT～47都道府県150人。若き匠の技と感性が交わる3日間。～』

京都新聞ビル 地下1階、平安神宮 額殿と京都の街がクラフトに染まる。

令和元年（2019年）11月29日(金)～12月1日(日)の3日間にわたり実施。

LEXUSは京都市と共催で、これまで「LEXUS NEW TAKUMI PROJECT」を通じてサポートしてきた日本全国の若きモノづくりの「匠」の作品を集結し、広く一般の方々に「日本の匠の未来」に触れていただくクラフトの祭典となる展覧会「TAKUMI CRAFT CONNECTION -KYOTO by LEXUS NEW TAKUMI PROJECT」を京都市にて、2019年11月29日(金)～12月1日(日)にかけて開催します。「LEXUS NEW TAKUMI PROJECT」においてスーパーバイザーを務める小山薫堂氏が総合監修を、建築家・隈研吾氏が会場と展示空間を演出、日本を代表するプロデューサーと建築家が携わります。



「LEXUS NEW TAKUMI PROJECT」はLEXUSが主催となり、日本の各地で活動する、地域の特色や技術を生かしながら、常識にとらわれない新しい発想で“次世代の伝統工芸”に挑む若き「匠」をサポートし、地域から日本全国へ、そして世界へ羽ばたくことを支援するプロジェクトです。

本展覧会では、2016年の開始以来、「LEXUS NEW TAKUMI PROJECT」に参加した47都道府県の匠・約150名の作品を一堂に集めて展示する他、匠と著名クリエイターとのコラボレーションによって制作される新たな作品、インスタレーション等を一般に向けて初公開します。工芸の中心地として長い歴史を歩んで来た京都の地で、全国の若き匠たちと人、土地、才能が交わることで、令和元年の日本が新たな時代を迎えた今、「新時代の匠たち」の姿を発信します。

LEXUSはブランドとして「CRAFTED」、すなわち日本の豊かな自然によって育まれた感性にもとづき、お客様のことを徹底的に考え抜き、相手が真に求めるものに、その人以上に思いを巡らせる精神、そしてそれを匠の技から最先端の技術までを駆使して徹底的に追求する姿勢を掲げています。本プロジェクトはまさに長い歴史の中で「CRAFTED」を体現してきた日本の匠のモノづくりが、未来に向けたさらなる進化を促すことに貢献することを目指しています。本展覧会で紹介する匠のモノづくりの姿を通じ、LEXUSが、そして日本の匠が追求する「CRAFTED」の精神、考え方をご堪能ください。

<実施概要>

TAKUMI CRAFT CONNECTION -KYOTO by LEXUS NEW TAKUMI PROJECT

～47 都道府県 150 人。若き匠の技と感性が交わる 3 日間。～

- ・日時：令和元年 11 月 29 日(金)～12 月 1 日(日)
- ・場所：京都新聞ビル 地下 1 階、平安神宮 額殿
- ・参加クリエイター：
隈研吾氏（建築家・東京大学教授）、廣川玉枝氏（SOMARTA クリエイティブディレクター）、
森永邦彦氏（ANREALAGE デザイナー）、辰野しずか氏(クリエイティブディレクター デザイナー)、
谷尻誠氏（建築家）
- ・主催：LEXUS
- ・共催：京都市等
- ・関連 URL：<https://lexus.jp/brand/new-takumi/craft-connection-kyoto/>

■～隈研吾氏が手がける展示空間に、全国約名の匠の作品が集結～

JAPAN connection：若き匠約 150 人の作品が集結。47 都道府県の技と感性をめぐる旅へ。

LEXUS NEW TAKUMI PROJECT の開始以来、LEXUS がサポートしてきた約 150 名の若き匠のプロダクトを一堂に集めて展示。プロジェクトから生まれた作品を一般に披露する展示の開催は、本プロジェクトとしても初の試み。会場は京都新聞ビル 地下 1 階。会場・空間演出は隈研吾氏が担当。

また同会場にて、京都市による「京ものユースコンペティション」の過去受賞者の作品も展示予定。

さらに、クリエイターによるトークイベントも本会場で実施予定。

■～世界から認められるクリエイター×若き匠によるコラボレーション～

CREATORS connection：5 人のトップクリエイター×若き匠。日本のモノづくりを世界へ。未来を拓く、新たな才能の出会い。

LEXUS NEW TAKUMI PROJECT では、匠が世界へ羽ばたくことを支援するべく、世界から高い評価を受けるクリエイターとのコラボレーションが実現し、プログラムに参加する 6 名の匠が決定。

また、参加クリエイターには、隈研吾氏をはじめとした異なるジャンルの最前線で活躍するクリエイターが登場。約半年間のプログラムの中で生まれる 6 つのコラボレーション作品は、平安神宮 額殿に展示予定。

会場・空間演出は、JAPAN connection 同様、隈研吾氏が担当する。

【参加クリエイター×匠】（敬称略）

- ・隈研吾 ×2017 年高知代表 岩本大輔（組子細工職人）
×2018 年奈良代表 平井健太（木工作家）
- ・森永邦彦×2016 年静岡代表 百瀬聡文（挽物師）
- ・廣川玉枝×2018 年東京代表 伊藤実（染の創作ぞうり四谷三栄の 3 代目）
- ・辰野しずか×2017 年鹿児島代表 鮫島悦生（薩摩切子職人）
- ・谷尻誠×2016 年大阪代表 関野亮（ガラス工芸作家）